

アテーサFRアダプターkit 製品組付け説明書

製品名称

ATTESA FR Adapter Husing kit (後部ハウジング部分のみのキット)
ATTESA FR Adapter Full kit (前部フランジ、後部ハウジングのキット)

装着可能車両

BNR32、BCNR33GT-R用トランスミッション搭載車
AT車両、BNR34GT-Rへは取り付け不可

重要事項のご確認

本製品を受け取りましたら部品内容、部品点数をご確認ください。内容に不備、不足があるようでしたらご購入先である販売店にご連絡下さい。

本製品は純正アテーサのサイズを元に製作しています。エンジン又はトランスミッション等スワップ車両、事故歴のある車両には本製品が車体に接触する等、容易に装着することが出来ない場合があります。

出力向上等に伴う本製品の破損及び駆動系の破損等に付きましては、保証は致しかねます。

取り付けの際は平坦な場所で車両が動き出さないよう注意し、エンジン、トランスミッション等が完全に冷えてから作業を行ってください。

本製品を使用する場合のご注意

本製品を取り付ける際はベアリング、OILシール等は純正新品を使用することをお勧めします。

当製品はプロペラシャフト接続部がスライド式ではなく、フランジ式になります。
よってプロペラシャフト本体にスライド機構があるBNR32.BCNR33.BNR34用のいずれかのシャフトを使用又は加工してご使用下さい。
スライド機構の無いプロペラシャフトの使用はアダプター内部のベアリング破損の原因となります。

アダプターKit組み付け説明

1P-3P ハウジングKit組み付け手順説明
4P-5P フルKit組み付け手順説明とオプションパーツ紹介

組み付け手順

作成日 2016/3/1

ハウジングKit 組み受け手順

- ① 純正シャフトに付属部品のアلمミCapを4本のボルトで組み付ける。
* ロックタイト使用推薦
* Cap間は約数mm程隙間が出来ますが問題はありません。



- ② 純正シャフトにスチールボール(31829-68300)を付けて、ドリブンギヤ(32701-1P400)をシャフト後方からアムミCap端面までプレスで圧入して下さい。
* 圧入時にドリブンギヤの向きを間違えないように注意して下さい。



- ③ ハウジング側後方よりベアリング(32203-05U00)を圧入し、Cリング(33138-05U00)でベアリングを固定して下さい。



- ④ ハウジングの後方にOILシールピニオン(33140-AT31A)を組み付けて下さい。



- ⑤ メインシャフトにアルミCap、ドリブンギヤ組み付け済みの状態で、ハウジング前方からドリブンギヤがベアリングに軽く当たるまで圧入して下さい。



- ⑥ ハウジング側後方から出ているシャフトに純正コンパニオンフランジ(33220-05U0A)を組み付け、純正ナット(38216-31G0A)を使用し、規定トルク(22.0-23.0kg・m)で締めてください。
* コンパニオンフランジ部分をバイスに挟むことで容易に締め付けることができます。



- ⑦ ハウジング前方にピンを2箇所を組み付け、液状ガスケットを塗布し純正フランジに取り付けて下さい。
* 位置決め用のピンを純正から外し再使用して下さい。
* ハウジングkitは純正フランジの構造上フランジとハウジング間に一部隙間が出来ますので、金属パテやシリコンガスケット等を使い埋めてください。
- ⑧ 組付けが終わりましたらシャフトが引っかかることなくスムーズに回ることを確認してください。
- ⑨ ハウジング上部に付属のブローバイ用のニップルを取り付けて下さい。



- ⑩ 車速センサーをハウジングに取り付けて下さい。
- ⑪ 車両に取り付け、最後にATFOILをシフトレバー取り付け部より入れて下さい
* OIL量は1. 2L~1. 3L入れて下さい。それ以下ですとベアリングが焼き付く可能性があります。
* OILを入れる前に車速センサーを必ず取り付けて下さい。でないとOILがそのまま漏れてきます。
* オイルを抜くときは車速センサー取り付け部より抜いて下さい。

ハウジング組み付け時注意点

ハウジングにメインシャフトを圧入し(写真1)、その後純正のフランジを取り付けた場合、このように(写真2)5mmほど浮いた状態からきつくて入らない場合があります。

これは純正アテサー同士を組み合わせた時にも発生する問題でもあります。

これは製品側でなく純正メインシャフト側の生産時における加工誤差が原因でスムーズに入らない状態です。

この状態で無理に締め付けたり、叩き込んだりしますと内部のベアリングの破損の原因となりますので決して無理に取り付けしないで下さい。

メインシャフトのフロント側でベアリングに入る部分をよく見ていただくと分かりますが、これは加工の際、シャフトを掴み直して前後からの加工によるズレで、0.01~0.03mmほどの段差が付いています。(写真3 写真では分かりづらいですが軽く爪が引っかかります)

引っかかりを感じた際は一度フランジを外し、この段差部分がほどよく無くなるまでペーパーがけをして下さい。(作業は数分ほどです)

ここの部分はプレス圧入ではないので、しっかりとミッション側のスプラインに入ることでセンターがでますので問題はありません。



写真 1

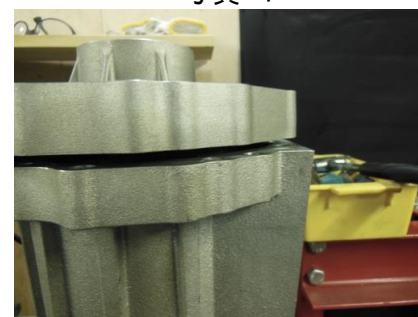


写真 2

写真 3



フルKit 組み付け手順

- ① ハウジングKit組み付け手順と同じです。
- ② ハウジングKit組み付け手順と同じです。
- ③ ハウジングKit組み付け手順と同じです。
- ④ ハウジングKit組み付け手順と同じです。
- ⑤ ハウジングKit組み付け手順と同じです。
- ⑥ ハウジングKit組み付け手順と同じです。
- ⑦ フランジ側後方よりベアリング (33116-05U00)を圧入し、付属のCリング (RTW-62)で固定して下さい。



- ⑧ フランジ前方からOILシール (33111-30C00)、後方からシフトストライキングOILシール (33189-05U00)を取り付けて下さい。



- ⑨ フランジとハウジング接触面に液状ガスケットを塗り、付属のピンを2箇所に取り付けてフランジとハウジングを固定して下さい。
- ⑩ フランジ前側に付属のピンを2箇所取り付け、液状ガスケットを塗布してトランスミッション後方に取り付けて下さい。

- ⑪ 組付けが終わりましたらシャフトが引っかかることなくスムーズに回ることを確認してください。
- ⑫ ハウジング上部に付属のブローバイ用のニップルを取り付けて下さい。



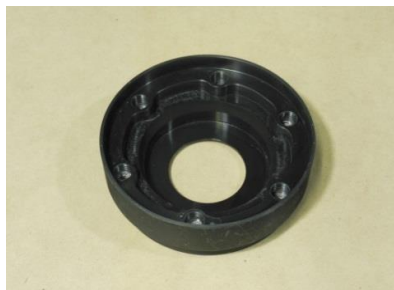
- ⑬ 車速センサーをハウジングに取り付けて下さい。
- ⑭ 車両に取り付け、最後にATFOILをシフトレバー取り付け部より入れて下さい
 - * OIL量は1.2L~1.3L入れて下さい。それ以下ですとベアリングが焼き付く可能性があります。
 - * OILを入れる前に車速センサーを必ず取り付けて下さい。でないとOILがそのまま漏れてきます。
 - * オイルを抜くときは車速センサー取り付け部より抜いて下さい。

フランジ、ハウジングset (フルkit)	
製品構成	個数
アテーサ ハウジング 本体	1
アテーサ フランジ 本体	1
アルミ キャップ set	1
フランジ側 Cリング RTW62	1
キャップボルト M6-1.0-15 (アルミキャップ固定)	4
位置決め用 ピン	4
フランジ、ハウジング固定用ボルト M8-1.25-45	11
スプリングワッシャー、ワッシャーset	11
ニップル90° 6φ-1/8PT28 90°	1

ハウジングkit	
製品構成	個数
アテーサ ハウジング 本体	1
アルミ キャップ set	1
キャップボルト M6-15 (アルミキャップ固定)	4
位置決め用 ピン	2
ニップル90° 6φ-1/8PT28 90°	1

Option parts

アテーサFRアダプターに使用するRB26プロペラシャフトは、後方がカップリングでデフレンシャルに接続する構造となっています。この製品はカップリング後方に挟み込むことでフランジタイプのデフレンシャルへの取り付けを容易にする変換アダプターです。デフレンシャル側穴位置はRB25、SR20系、トヨタ8インチに対応します。



プロペラシャフト 変換アダプター	
製品構成	個数
スチール製アダプター本体	1
センター出しカラー (RB, SR又はトヨタ8インチ 選択)	1
スタッドボルト M8-1.25	4
ナット M8-1.25	4

販売元

会社名 JHKProject
 代表者 近藤 浩文
 連絡先 448-0007
 愛知県刈谷市東境町新池71-2
 090-1093-6630